

平成26年度宮城県学力・学習状況調査結果について（速報）

宮城県教育委員会

1 実施状況

（1）調査の目的

- ① 宮城県の児童生徒の学力や学習状況及び学校の学習に係る取組、意識等を調査することにより、児童生徒の一層の学力向上に向け、学習指導の改善と家庭学習の充実を図るとともに、今後の教育施策の企画・立案に活用する。
- ② 本調査の結果と全国学力・学習状況調査の結果を関連付けて分析することにより、学校における教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立を図る。

（2）調査実施期日等

平成26年10月28日（火）

（3）調査対象（仙台市を除く）

- ① 小学校5年生及び特別支援学校小学部5年生の全児童
- ② 中学校2年生及び特別支援学校中学部2年生の全生徒

（4）調査事項及び内容

- ① 教科に関する調査
 - ・小学校5年生：国語，算数
 - ・中学校2年生：国語，数学，英語
 - ※基礎・基本に関する問題が全体の約8割
 - ※思考力・判断力・表現力に関する問題が全体の約2割
- ② 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

（5）実施校

- ① 小学校調査 273校
- ② 中学校調査 143校

（6）実施児童生徒数

- ① 小学校調査 11,287人
- ② 中学校調査 11,478人

2 調査結果

(1) 教科に関する調査結果

- 全体の平均正答率では、小5、中2の全ての教科で「全国的期待値（参考値）」※（以下「全国値」という。）との5ポイント以上の有意差は見られなかった。
- 「基礎・基本」については、5ポイント以上の有意差は見られなかったものの、小5・中2ともに、全ての教科で全国値を下回っており課題が見られる。
- 小5の国語では、「話すこと・聞くこと」は身に付いているが、「書くこと」に課題がある。また、算数では、「数と計算」、「図形」、「数量関係」については概ね身に付いているが、「量と測定」にやや課題がある。
- 中2の国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は概ね身に付いているが、「書くこと」に課題がある。数学では、全領域において全国値を下回っている。特に「資料の活用」に課題が見られる。また、英語では、「聞くこと」は概ね身に付いているが、「書くこと」に課題がある。

(2) 学年・教科ごとの宮城県平均正答率（全体、基礎・基本、思考力・判断力・表現力）

校種	教科	全体		基礎・基本		思考力・判断力・表現力	
		宮城県 平均正答率	全国値	宮城県 平均正答率	全国値	宮城県 平均正答率	全国値
小学校	国語	63.8	67.7	67.9	72.0	46.0	48.8
	算数	74.4	74.0	76.2	76.4	67.5	64.7
中学校	国語	65.3	67.6	67.4	69.7	53.7	55.4
	数学	58.9	63.2	61.5	66.0	49.7	53.1
	英語	69.3	70.7	73.8	75.3	53.9	55.3

※全国的期待値（参考値）について

実施初年度であり、経年比較ができないことから、全国的な水準で期待すべき想定平均正答率を任意に設定した参考値である。

※平均正答率を示した表において、網掛けは全国値を5ポイント以上上回ったもの。▼は全国値を5ポイント以上下回ったもの。

(3) **小学校国語**

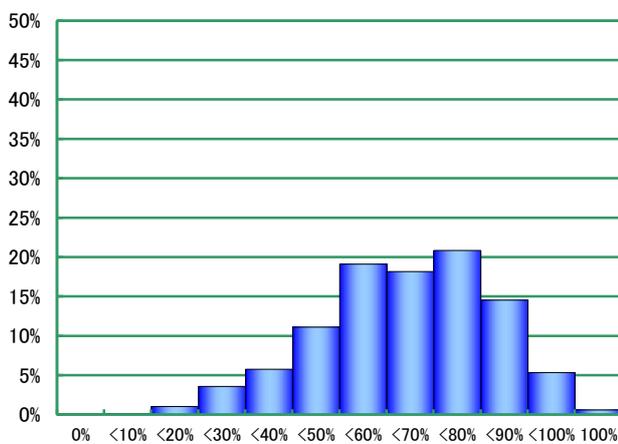
○「話すこと・聞くこと」は身に付いているが、「書くこと」に課題がある。

- ・「基礎・基本」及び「思考力・判断力・表現力」ともに、5ポイント以上の有意差は見られなかったものの、全国値を下回っておりやや課題が見られる。
- ・領域別に見ると、「話すこと・聞くこと」は身に付いているものの、「書くこと」に課題が見られる。また、「読むこと」及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、5ポイント以上の有意差は見られなかったものの、全国値を下回っておりやや課題が見られる。

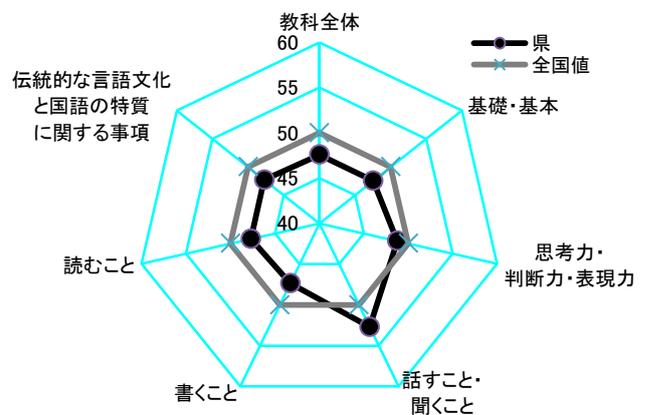
〈区別平均正答率〉

分類	区分	県	全国値
全体・基礎・活用	教科全体	63.8	67.7
	基礎・基本	67.9	72.0
	思考力・判断力・表現力	46.0	48.8
領域	話すこと・聞くこと	68.6	61.3
	書くこと	▼ 59.9	67.5
	読むこと	61.2	66.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	66.9	71.2

〈正答率度数分布〉



〈区別平均正答率の比較〉



※各区分の値は、全国値を50とした場合の標準スコアを表します。

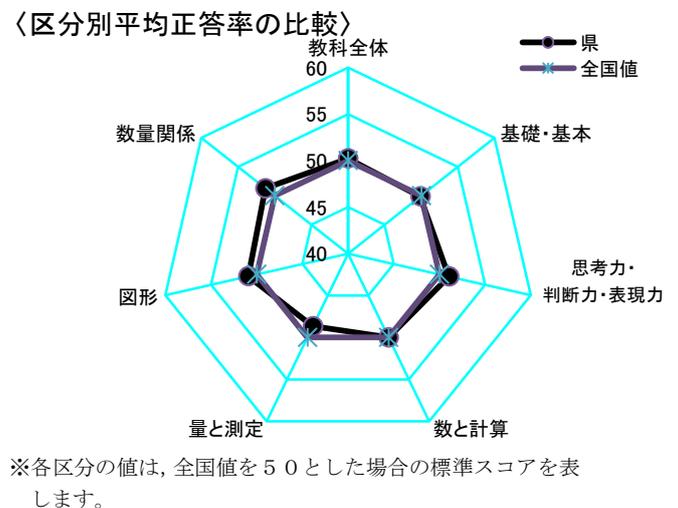
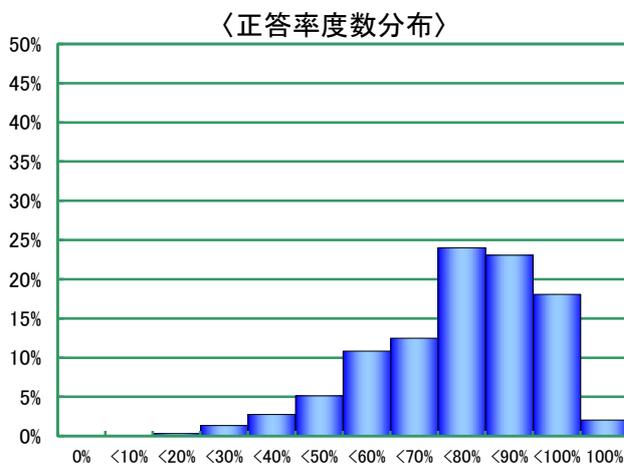
(4) **小学校算数**

○「数と計算」,「図形」,「数量関係」については概ね身に付いているが,「量と測定」にやや課題がある。

- ・「基礎・基本」及び「思考力・判断力・表現力」ともに, 5ポイント以上の有意差は見られなかった。「思考力・判断力・表現力」については, 全国値をやや上回っており概ね身に付いている。
- ・領域別に見ると, 5ポイント以上の有意差は見られなかったものの, 「量と測定」については全国値を下回っており, やや課題が見られる。

〈区分別平均正答率〉

分類	区分	県	全国値
全体・基礎・活用	教科全体	74.4	74.0
	基礎・基本	76.2	76.4
	思考力・判断力・表現力	67.5	64.7
領域	数と計算	78.4	78.4
	量と測定	74.9	79.1
	図形	75.8	73.9
	数量関係	67.9	65.4



(5) **中学校国語**

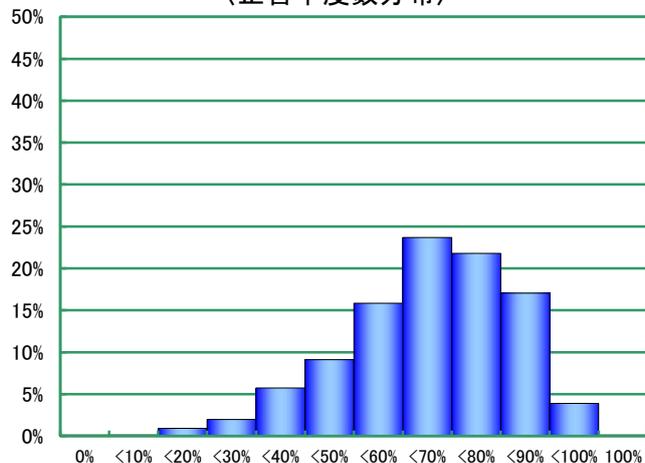
○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は概ね身に付いているが、「書くこと」に課題がある。

- ・「基礎・基本」及び「思考力・判断力・表現力」ともに、5ポイント以上の有意差は見られなかったものの、全国値を下回っておりやや課題が見られる。
- ・領域別に見ると、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は全国値をやや上回るものの、その他の領域については全国値を下回っている。特に「書くこと」については、全国値を下回っており課題が見られる。また、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」については、5ポイント以上の有意差は見られなかったものの、全国値を下回っておりやや課題が見られる。

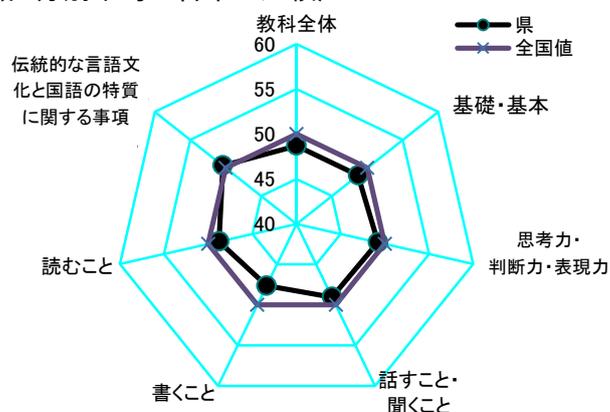
〈区分別平均正答率〉

分類	区分	県	全国値
全体・基礎・活用	教科全体	65.3	67.6
	基礎・基本	67.4	69.7
	思考力・判断力・表現力	53.7	55.4
領域	話すこと・聞くこと	75.3	77.4
	書くこと	▼ 67.0	75.8
	読むこと	59.9	62.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	65.5	64.7

〈正答率度数分布〉



〈区分別平均正答率の比較〉



※各区分の値は、全国値を50とした場合の標準スコアを表します。

(6) **中学校数学**

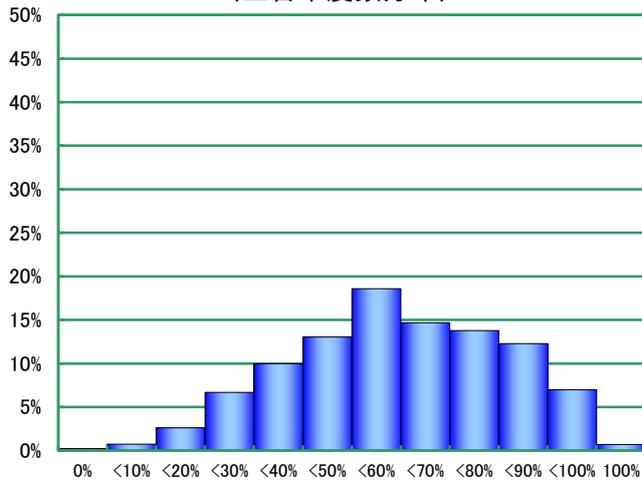
○全領域において全国値を下回っている。特に「資料の活用」に課題が見られる。

- ・「基礎・基本」及び「思考力・判断力・表現力」ともに、5ポイント以上の有意差が見られなかったものの、全国値を下回っておりやや課題が見られる。
- ・領域別に見ると、特に「資料の活用」で全国値を下回っており課題が見られる。また、「数と式」「図形」及び「関数」についても、5ポイント以上の有意差が見られなかったものの全国値を下回っておりやや課題が見られる。

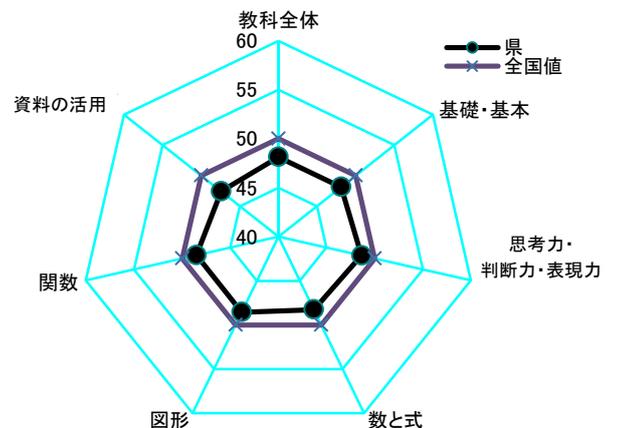
〈区別平均正答率〉

分類	区分	県	全国値
全体・基礎・活用	教科全体	58.9	63.2
	基礎・基本	61.5	66.0
	思考力・判断力・表現力	49.7	53.1
領域	数と式	63.6	68.2
	図形	49.3	53.3
	関数	57.9	61.3
	資料の活用	▼ 61.2	66.3

〈正答率度数分布〉



〈区別平均正答率の比較〉



※各区分の値は、全国値を50とした場合の標準スコアを表します。

(7) **中学校英語**

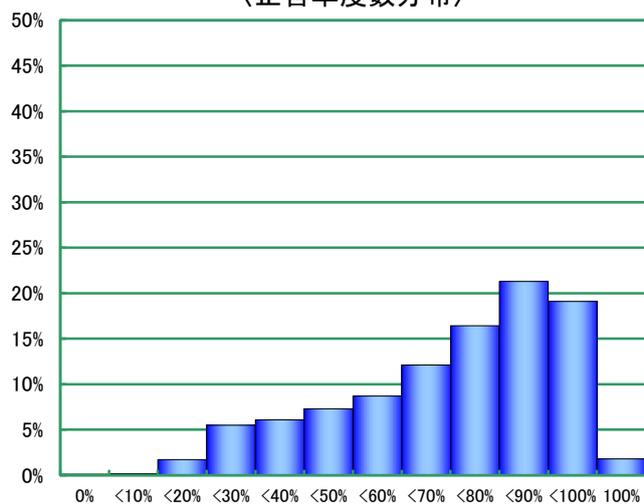
○「聞くこと」は概ね身に付いているが、「書くこと」に課題がある。

- ・「基礎・基本」及び「思考力・判断力・表現力」とともに、5ポイント以上の有意差は見られなかった。
- ・領域別に見ると、「聞くこと」は全国値を上回っており概ね身に付いているものの、「書くこと」については、全国値を下回っており課題が見られる。

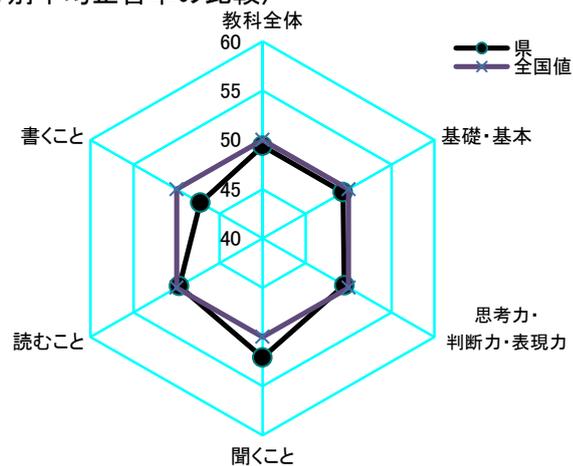
〈区分別平均正答率〉

分類	区分	県	全国値
全体・基礎・活用	教科全体	69.3	70.7
	基礎・基本	73.8	75.3
	思考力・判断力・表現力	53.9	55.3
領域	聞くこと	76.2	71.9
	読むこと	70.9	71.7
	書くこと	▼ 60.0	68.1

〈正答率度数分布〉



〈区分別平均正答率の比較〉



※各区分の値は、全国値を50とした場合の標準スコアを表します。

(8) 質問紙調査結果の概況

〈児童生徒質問紙調査の結果〉

① 学力向上に向けた5つの提言と関連する事項

○先生が話を聞いてくれる、良いところを認めてくれるとしている割合は、小5で8割を超えるなど、小5、中2とも肯定的な回答をした割合が高い。

○授業のはじめに目標を示されていると思っている割合は、小5、中2とも高く、小6、中3よりも高い傾向にある。一方、授業の最後に振り返る活動をよく行っていると思っている割合は、小5、中2とも低く課題がある。

○自分の考えをノートに書くようにしている割合は、小5で7割を超えているが、中2では5割程度と低く課題がある。

○平日、家庭などで小5で1時間以上、中2で2時間以上勉強している割合は、小5で6割に満たず、中2では2割程度と低く課題がある。いずれも、小6、中3よりも低い傾向にある。

※実施初年度であり経年比較ができないことから、右に平成26年度全国学力・学習状況調査における小学校6年生と中学校3年生の状況を示し、その下段には全国平均との比較を示した。

質問事項		小学校 (%)		中学校 (%)	
		5年生	6年生	2年生	3年生
1	先生から声を掛けられたり、励まされたりしますか	69.7		65.5	
2	先生はあなたの話を聞いてくれますか	86.8		79.5	
3	先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか	81.0		75.8	
4	授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	80.5	77.5 -4.5	73.5	67.7 -3.8
5	授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	66.1	68.0 -3.9	52.2	53.0 -0.3
6	授業で、自分の考えをノートに書くようにしていますか。	73.9		50.6	
7	家で学校の授業の予習をしていますか	44.2	50.2 +7.0	36.8	46.7 +12.5
8	家で学校の授業の復習をしていますか	57.9	66.1 +12.1	50.6	63.0 +12.6
9	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（塾や家庭教師含む、小学校：1時間以上、中学校：2時間以上）	56.8	64.1 +2.1	22.1	29.6 -5.5
10	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（塾や家庭教師含む、小学校：2時間以上、中学校：3時間以上）	21.8	22.0 -2.0	13.1	15.6 -1.3

② 震災の影響

○家庭学習がやりにくい、授業に集中できない、気持ちが落ち着かなくなるなど、震災の影響を感じている割合は、小5、中2とも1割～2割程度となっており、特に小5が高い。

質問事項		小学校 (%)		中学校 (%)	
		5年生	6年生	2年生	3年生
11	震災前に比べ、家庭学習がやりにくくなりましたか	18.6		13.0	
12	突然震災を思い出し、授業に集中できないときがありますか	13.6		5.4	
13	突然震災を思い出し、気持ちが落ち着かなくなることがありますか	17.6		11.9	

③ 学習の理解度

○国語、算数・数学、英語の授業の内容がよく分かるとしている割合は、小5、中2とも7割を超え高く、特に小5の国語、算数が高い。いずれも、小6、中3よりも高い傾向にある。

質問事項		小学校 (%)		中学校 (%)	
		5年生	6年生	2年生	3年生
14	国語の授業の内容はよく分かりますか	87.7	78.8 -1.3	82.9	74.5 +2.5
15	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	89.0	78.2 -1.4	71.8	71.4 -0.1
16	英語の授業の内容はよく分かりますか			72.1	

④ 基本的な生活習慣

○朝食を毎日食することなど、学力向上を支える基本的な生活習慣については、小5、中2ともに肯定的な回答をした割合が高く概ね身に付いている。

○3時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしている割合は、中2で1割以上となっているとともに、LINEなどの無料通信アプリを1時間以上使っている生徒が3割を超えており課題がある。

質問事項		小学校 (%)		中学校 (%)	
		5年生	6年生	2年生	3年生
17	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	79.0	81.7 +2.5	77.2	77.5 +3.4
18	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	89.3	90.9 0.0	92.3	92.9 +0.8
19	朝食を毎日食べていますか	96.5	96.8 +0.8	94.5	94.6 +1.1
20	普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見ますか →3時間以上と回答した割合	27.2	39.6 +1.6	25.4	30.3 -1.2
21	普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか →3時間以上と回答した割合	12.3	17.4 +0.4	18.0	19.8 -0.5
22	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか →3時間以上と回答した割合	3.3	4.8 -0.2	15.6	18.8 -1.0
23	平日に、携帯電話やスマートフォンでLINEなどの無料通信アプリをどのくらい使っていますか →1時間以上と回答した割合	5.4		31.1	

※20から23については、数値が高いほど、また、全国との比較の値が大きいほど改善の必要性が高い。

〈学校質問紙調査の結果〉

○将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導に取り組んでいる学校の割合は、小5、中2とも高く、特に中2が9割を超え高い。小6、中3よりはやや低い傾向にある。

○算数、数学の指導において、補充的な学習の指導及び発展的な学習の指導に取り組んでいる学校の割合は、小5で5割程度、中2で2～3割程度と低い。特に補充的な学習では、小6、中3よりもかなり低くなっている。

質問事項		小学校 (%)		中学校 (%)	
		5年生	6年生	2年生	3年生
1	国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行ったか	89.4	93.2 +2.6	97.2	96.5 +2.9
2	国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行ったか	78.4	82.5 -0.7	82.5	84.7 -1.4
3	算数・数学の指導として、補充的な学習の指導を行ったか	54.6	89.8 +0.3	31.5	88.1 +0.5
4	算数・数学の指導として、発展的な学習の指導を行ったか	52.0	54.4 -3.9	24.5	59.4 -1.9
5	英語の指導として、補充的な学習の指導を行ったか			22.4	
6	英語の指導として、発展的な学習の指導を行ったか			20.3	
7	将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行ったか	83.9	86.6 +14.6	94.4	96.0 +1.8

※示している数値は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合

3 今後の対応

- 教科全体の正答率は、全ての教科で全国値との5ポイント以上の有意差は見られなかったものの、基礎・基本の問題の正答率が小5・中2ともに、全ての教科で全国値を下回っており、基礎学力を定着させるための取組の改善が必要である。
- 小5、中2の国語の「書くこと」の領域や中2の英語の「書くこと」の領域等に課題が見られるとともに、中2の数学では全領域で全国値を下回ったことから、今後さらに詳細な分析を行い対策を講じていく。
- 学力向上に向けての基本となる「5つの提言」については、小5・中2ともに、「授業の最後に振り返る活動」等に課題が見られたことから、指導主事の学校訪問の機会をとらえて全ての学校でさらに徹底するよう働き掛けていく。
- 小5や中2で補充的な学習の指導及び発展的な学習の指導に取り組んでいる学校の割合が低い傾向にあり、学習内容の定着に向けて、全学年で個々の理解度に応じた指導の充実を図っていくよう各学校へ促していく。
- 震災の影響を感じている児童生徒が多くいることから、子供の心のケアに努め、家庭学習を含め、落ち着いて学習ができるよう学習環境の整備をより一層進めていく。
- 中2で、LINEなどの無料通信アプリを1時間以上使っている生徒が3割を超えており対策を講じる必要がある。
- 今後、検証改善委員会を立ち上げ、今回の調査結果の詳細な分析を進め、昨年4月に実施された全国学力・学習状況調査の分析と連動させながら、各学校の検証改善サイクルを確立するなど、市町村教育委員会と連携して学力向上に向けた具体的な取組を進めていく。